

しっかり君ファミリーが消費生活に関する情報をお伝えしていきます。

安心・安全な新生活 をスタートするために!



学生

社会人



しっかり君

進学や就職で一人暮らしを始める
学生・社会人が多い季節ですね。



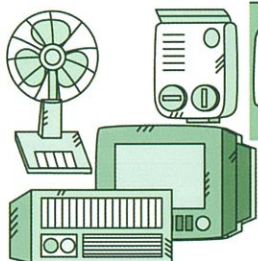
初めて使う家電で
使い方を誤って
やけどをしてしまった!!



必ず儲かるといわれて
学生ローンで借金を
してしまった!!



事故を防止するために!
トラブルに巻き込まれないために!
どんなことに注意すればいいのかな?



うっかり君

“困った、どうしようと思ったら、”

消費者ホットライン ☎ **188** (局番なし)

お住まいの市町村などにある最寄りの相談窓口をご案内します。

事故を防止するための5つのポイント！

① 家電製品は取扱説明書をしっかり読もう！

- 使い慣れていない家電製品は、まず正しい使い方を理解しましょう。
- 使い方を誤ると発火や破裂などの事故につながることもあります。

② 中古品は製造年や保証の確認を忘れずに！

- 家電製品本体だけでなく、コード・ACアダプター類にもキズや破損がないか確認しましょう。
- リコール対象品かどうかの確認をしましょう。
- 古い製品は修理や部品交換ができないものもあり、経年劣化で事故が起こることもあります。

③ 家具の組み立ては正しい手順で安全に！

- ネジの締め付け不足や付け忘れのないように組み立てましょう。
- 二人で組み立てるように記載されている家具を、一人で無理に行くとケガをすることもあります。
- 正しく組み立てないと使用しているうちに破損することもあります。

④ お部屋の設備の安全確認を！

- 賃貸住宅の扉や戸棚、照明などの据付家具や設備の不具合に気づいたら貸主や管理会社へすぐ連絡をしましょう。
- そのまま放置していると経年劣化による破損や落下でケガをすることもあります。

⑤ 自炊時は、手洗いや加熱の徹底を！

- 食中毒の予防のポイントは菌を「つけない!!」「増やさない!!」「やっつける!!」です。
- 食材や食器、自分の手にも細菌やウイルスは付着しています。

正しい使用方法
を守ってね！



契約時に注意したい5つのポイント！

① 契約するかどうかの判断は慎重に！

- 「今だけのお得なキャンペーン」などと勧められる場合がありますが、迷ったら契約しないことも大切です。
- 高額な契約は、あらかじめ、内容を十分に確認し、周りの人に相談しましょう。

② ローン（借金は）よく考えて！

- 「必ず儲かる」と触れ込み、学生ローンでの借金が必要となるような契約を勧める悪質事業者もいます。
- そうした勧誘はただちに断りましょう。「必ず儲かる」ということはありません。

③ インターネット通販は事業者・内容を事前にチェック！

- ネット通販は手軽で便利でも、「商品が届かない」「定期購入になっていた」といったトラブルにあうこともあります。
- 契約内容や事業者の情報などを事前によく確認しましょう。

④ 知らない人の SNS 情報は確認をしっかりと！

- 「SNS で知り合った人」の情報や SNS の書き込みが被害のきっかけになることも。
- SNS でのやりとりをうのみにしてはいけません。

⑤ エステや美容医療を受けるときはよく考えて！

- サロンやクリニックに行った当日に、高額な施術や治療を強く勧めてくる場合もあります。冷静に考えましょう。
- 施術・治療や契約の内容をきちんと説明してもらい、十分に理解しましょう。

話が違う！
おかしい！
と思ったら
すぐに相談!!



消費者ホットライン ☎ 188 [いやや] (局番なし)

お近くの消費生活相談窓口をご案内します。

くらしのAN・AN情報

あんぜん

あんしん



ベランダや窓からの 子どもの転落事故を防ごう！

事例

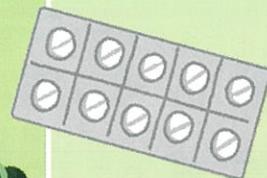
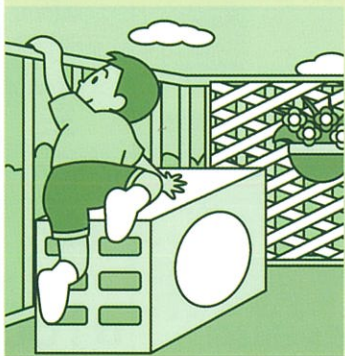
兄弟を寝かしつける間、子どものそばを離れていた。外で「ドスン」という音がしたので、自宅前の路上を確認すると、子どもがうつ伏せで倒れていた。普段は窓を3重にロックしているが、その日は1重のロックで、子どもが窓を自分で開けて3階のベランダに出て転落したようだ。あご、目、鼻の骨を骨折し、6日間入院した。

(当事者：5歳 男児)

ひとこと

- ベランダや窓からの転落事故を防止するために、小さな子どもをベランダや窓のある部屋に一人きりにしないようにし、特に子どもだけで留守番させるのはやめましょう。
- ベランダへの出入り口や窓を施錠したり、子どもの手の届かないところに補助錠をつけたりするなど、子どもの発達に応じて転落を未然に防止する環境を整えましょう。
- ベランダの手すりや窓の近くに、子どもが簡単に乗ることが出来る足場となるような物を置かないことも大切です。
- ベランダの手すりや窓の構成部分にがたつきや腐食、脱落などが無いかも点検しましょう。

独立行政法人国民生活センター
「子どもサポート情報 第129号」より



見守りが
大事だね！



のどや食道を傷つけることも！ 薬の包装シートの誤飲に注意

事例

朝食後、家族が切り取って渡した内服薬をPTP包装シートごと飲み込んだ。のどにつかえた感じがあり、近所の病院にかかった後、救急車で他の病院に運ばれ、胃カメラで食道からPTP包装シートを回収した。

(90歳代 男性)

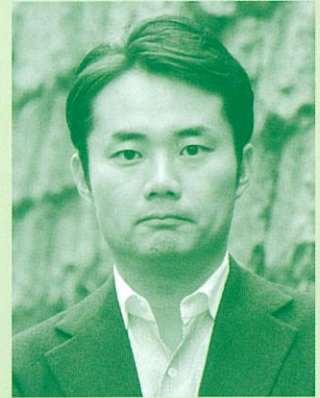
ひとこと

- プラスチックにアルミなどを貼り付けたPTP包装シートに入った薬を、PTP包装シートごと飲んでしまい、のどや食道などを傷つけたという事故が多く見られます。痛みなどの症状が表れるまで誤飲に気づきにくく、重症化する恐れもあります。
- PTP包装シートを切り1錠ずつにすると、飲み込みやすいサイズになってしまう上に、切った角が鋭くなり危険です。1錠ずつに切り離してはいけません。
- 万が一PTP包装シートを誤飲した場合、のどにつかえる等の違和感があったら、医療機関を受診しましょう。日ごろから休日、夜間に受診できる医療機関の連絡先を確認しておくことも大切です。

独立行政法人国民生活センター
「見守り新鮮情報 第253号」より

消費者フォーラム in 奈良

高齢化の進行、高度情報化・通信社会の進展などさまざまな課題を抱えている社会を生きていく上で求められることは何か？
講演会では杉村太蔵氏をお招きし、人生経験をふまえてお話しいただきます。



日時 2019年 **5月19日** 日 15:30～18:00 (受付15:00～)

場所 ならまちセンター 市民ホール 奈良市東寺林町38番地

テーマ **太蔵流！「これからの世の中どう生きる？」**
～生きる力、自立する力を養おう！～

講師 **杉村 太蔵氏**

元衆議院議員 1979年8月13日、北海道旭川市出身。2004年3月筑波大学中退。派遣社員から外資系証券会社勤務を経て、2005年9月総選挙で当時最年少当選を果たす。厚生労働委員会、決算行政監視委員会に所属。労働問題を専門に、特にニート・フリーター問題など若年者雇用の環境改善に尽力。
現在、TBS「サンデージャポン」、日本テレビ「幸せ! ボンビーガール」、ラジオ日経「マーケットプレス」などに出演。小学館「バカでも資産1億円」を上梓。政治・経済・金融をわかりやすく解説する。平成28年4月から慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科後期博士課程に在籍。趣味のテニスは、国体で優勝したほどの腕前。私生活では三児の父。

定員 300名 (先着順・定員に達し次第締め切らせていただきます。)

プログラム 15:30～▶消費生活パネル紹介等 16:30～▶講演会



お申込みについて

1. はがきかFAXに、「消費者フォーラム参加希望」と明記し、参加者全員（1枚につき2名まで）の郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、電話番号をご記入の上、下記申込・問合せ先に送付ください。奈良県消費生活センターのウェブサイトからも申し込み可能です。
2. 参加の可否は、2019年5月10日頃、参加証の送付により通知します。当日、会場受付にてご提示ください。
3. 取得した個人情報については、適切に管理し、本フォーラムの運営以外の目的には使用しません。

申込・問合せ先

奈良県消費生活センター 〒630-8122 奈良市三条本町8番1号シルキア奈良2階

FAX: 0742-32-2686 <http://www.pref.nara.jp/1746.htm>

TEL: 0742-32-0621 (受付時間9:00～17:00(土日祝日を除く)) ※お電話での申し込みは受け付けておりません。

- 注意事項
 - ・天候や交通機関の状況等により中止することがあります。
 - ・当日は、取材が入る可能性がありますので、写真撮影等があることを予めご了承願います。

主催：奈良県消費生活センター、奈良県金融広報委員会

奈良県消費生活センター

〒630-8122 奈良市三条本町8番1号 シルキア奈良2階

消費生活相談 ☎ 0742-36-0931
月～金 9:00～16:30 年末年始、祝休日は除く

消費者教育・啓発 ☎ 0742-32-0621
(共通) FAX 0742-32-2686

奈良県消費生活センター中南和相談所

〒635-0085 大和高田市片塩町12番5号 大和高田市市民交流センター3階

消費生活相談 ☎ 0745-22-0931
FAX 0745-22-4999
月～金 9:00～16:30 年末年始、祝休日は除く

ひとりで悩まないで、
まずは相談！

消費者ホットライン

いやや
☎188